

渡島檜山管内市町議会議員研修会 レポート

— 10月16日北斗市 —

渡島檜山管内市町議会議員研修会が北斗市北斗市総合文化センター「かなで〜る」で開催され、議員8名が参加しました。

渡島檜山管内から町村議会議員など関係者が多数集まり、講師2名の講演による研修をしました。



開会のあいさつ



講演前に資料を確認する議員

講演 1

「地方議会とハラスメント」

講師 朝日新聞社東京本社
ネットワーク報道本部

次長 三 島 あずさ 氏

日本のジェンダー問題は、独身や家事育児を妻に任せきりの男性が基本の雇用形態など構造的な社会問題。現代は多様性の社会であり、男女不平等が残る地域・組織は生き残れない。

議会は古い価値観が多く残っているため、新しい人（特に女性）が入りにくく、体制や価値観が変わらない悪循環が起きている。

地方議会の良い点はスピード感。まずは自分たちの議会から見直すことが大切。

講演 2

「ゼロカーボン北海道について」

講師 北海道経済部資源エネルギー局長
兼ゼロカーボン推進局風力担当

局長 西 岡 孝一郎 氏

ゼロカーボン北海道とは、単に脱炭素を進めるのではなく、取組みを通じて経済と環境の好循環を目指すもの。

市町村の脱炭素の目的は、脱炭素化を地域の活性化に繋げることにある。

地域資源を活用した再生可能エネルギーの使用で、地域内の消費・雇用が生まれることが期待される。

再生エネルギーに関して渡島檜山管内にも関連する話題として、洋上風力発電の候補地として檜山沖・松前沖が挙げられている。

渡島西部四町議会議員連絡協議会 研修視察レポート

渡島西部四町議会議員連絡協議会視察研修
に当町から藤山議員、佐藤議員、小鹿議員が
参加しました。

— 10月18日栃木県宇都宮市 —

— 19日栃木県 鹿沼市 —

— 20日福島県いわき市 —



震度2～7までの揺れを体験（栃木県防災館）

18日(水) 栃木県宇都宮市

栃木県防災館 「防災対策施設見学」

火災による煙、暴風による風圧、地震による揺れを体験し、脅威を実感しました。

災害直後は公助の活動に限界があり、自助と共助の防災活動が重要であると説明を受けました。



鹿沼市は全国有数のいちご産地（鹿沼市役所）

19日(木) 栃木県鹿沼市

鹿沼市役所 「自主防災組織強化対策」

鹿沼市では自治会長が防災会長を務める自主防災会、消防団を中核とした地域防災強化の推進等の取組みについて視察しました。高齢化やなり手不足といった課題はあるが、誰一人取り残さない取組みには「共助」が必要との説明でした。



取組みの説明を受ける議員（いわき振興局）

20日(金) 福島県いわき市

いわき地方振興局 「防災対策への取り組み」

東日本大震災による被害や復興、避難者受入の他、地域の防災力として災害時の被害を最小限に抑える重要な役割として「自助」「共助」「公助」各分野の対策について丁寧に説明を受けました。